

スポンサー制度を活用した企業活性化事業

秋田県立図書館（秋田県秋田市） <http://www.apl.pref.akita.jp/>

基本データ（数値はH25年現在）

住所	秋田市山王新町14-31
電話番号	018-866-8400
人口	105万人
職員数（うち有資格者数）	41人（21人）
蔵書数	804,816冊
登録者数	98,651人
年間貸出冊数（H24）	417,651冊

目的・趣旨

従来から実施している「ビジネス支援サービス」に加え、昨年度開始した「雑誌スポンサー制度」事業を活用し、知的情報拠点である県立図書館を中心に、県内スポンサー企業による新規事業・新製品開発等を支援することで、地域活性化を図るものである。

取組概要

当事業では以下の3つの取組により、県立図書館が「知的情報拠点」の役割を担うことで、地域活性化の“核”となることを目指すものである。

①ビジネス・レファレンスの充実

図書資料やデータベースを有効活用して、ビジネス関連のレファレンススキルを持つ職員が、利用者からの求めに応じて適切な資料を提供する。

②スポンサー企業の新規獲得

企業訪問を通じて、様々な業種のスポンサーを獲得する活動を強化。スポンサー数の増加、業種の拡大により、企業間ネットワークの強化がもたらされる。

③ビジネスカフェ（異業種交流会）・セミナーの実施

スポンサー企業間の交流を図り連携を深化させる。また、ビジネス支援の事例紹介や専門家による講演会、セミナーを実施する。



↑ビジネスカフェの様子

特徴

当事業は文部科学省により、平成25年度の「公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム」事業に採択された。背景には「ビジネス支援サービス」による県産品のブランド化支援と、「雑誌スポンサー制度」事業による地域活性化への支援と資料費の確保という、他館にはない取組が評価のポイントとなっている。

①ビジネス支援サービスによる「ブランド化支援」

県立図書館が所有する地域資料や統計資料を活用し、県産品の付加価値を高め、差別化を図る取組として、これまで「高級サクランボ」「高級リンゴジュース」「段ボールを使用した図書館家具」などの製品開発に協力。



↑様々な資料を提供して“ブランド化”を支援

②雑誌スポンサー制度事業による「資料費の確保と企業支援」

雑誌の購入代金を企業に負担してもらい、雑誌のカバーと雑誌架に企業名を表示する。企業にとっては情報発信と社会貢献ができる。図書館にとっては地域活性化への支援と資料費の確保ができ、互いにメリットのある事業である。



新刊雑誌のカバーに広告を貼付して、→利用者へPRする

取組の成果と今後について

平成25年10月現在、29の企業・団体が31誌のスポンサーとなっている。また、スポンサー同士のビジネスカフェ（異業種交流会）を7月に実施し、約20名が参加した。また、9月と11月には「ビジネスセミナー」を開催し、経営者やビジネスに関心のある多くの県民が参加している。今後は、ビジネス・レファレンスサービス及びスポンサー企業獲得活動を強化し、当該事業の更なる充実を図るものとする。